

「学生とシニアの対話会」 事後アンケート結果
 ～ 遠隔講演、遠隔対話バージョン ～
 (2020 年 11 月 19 日開催)

纏め：梶村 順二

*参加者（アンケート回収数 26）

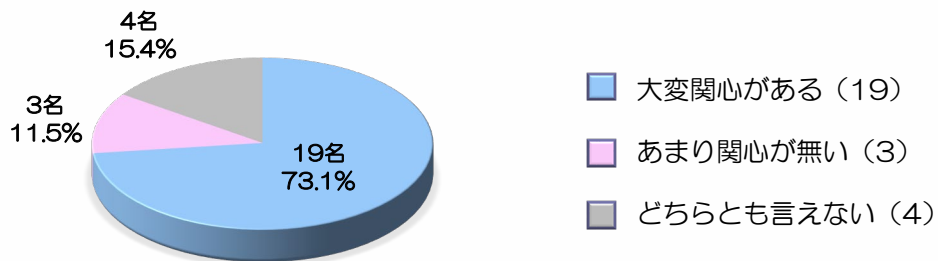
（内訳）電気電子工学科 修士1～2年・・・26名

＜ 希望進路 ＞

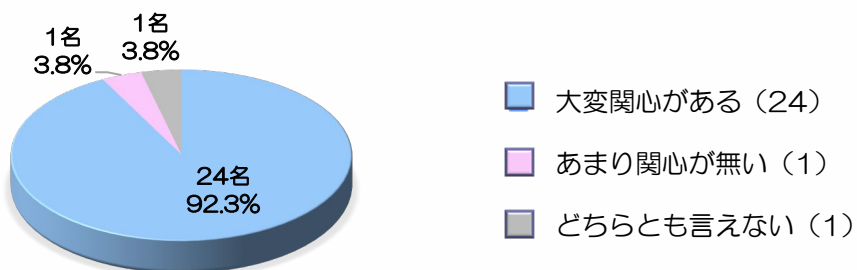
		修士1～2年
就 職	メーカ－	12
	電力会社	4
	IT・通信	3
	その他	2
	未 定	4
進 学		1
計		26

■日本や世界の出来事への関心について伺います。

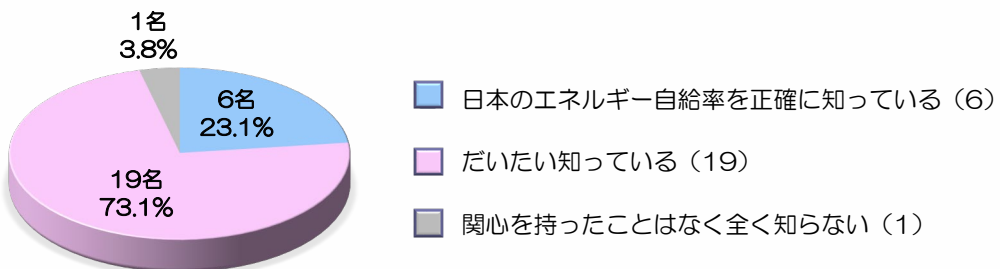
- ・年金問題、少子高齢化等日本の将来への関心について。



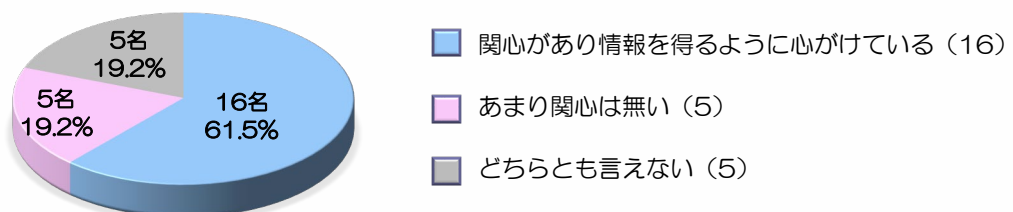
- ・エネルギー問題への関心について。



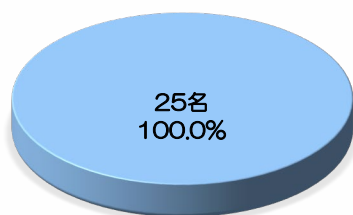
- ・日本のエネルギー自給率について。



- ・社会一般の安全やリスク（交通安全、食品安全、医療安全など）への関心について。

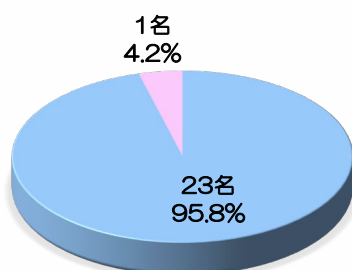


(1) -1 今回の遠隔講演、対話について伺います（画像、音声）。



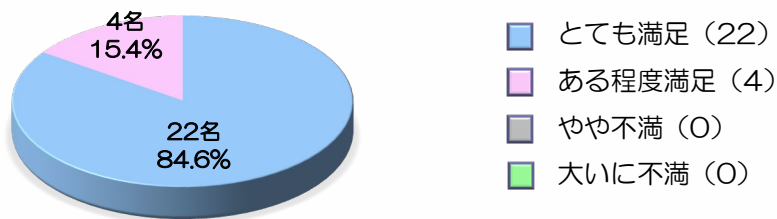
- 画像、音声とも問題なかった（25）
- 画像、音声とも改善の余地がある（0）
- どちらとも言えない（0）

(1) -2 今回の遠隔講演、対話について伺います（対話の進行や双方向性について）。



- 一定の双方向性があり適切な進行であった（23）
- 進行や双方向性については改善の余地がある（1）
- どちらとも言えない（0）

(2) 講演の内容は満足のいくものでしたか？その理由は？



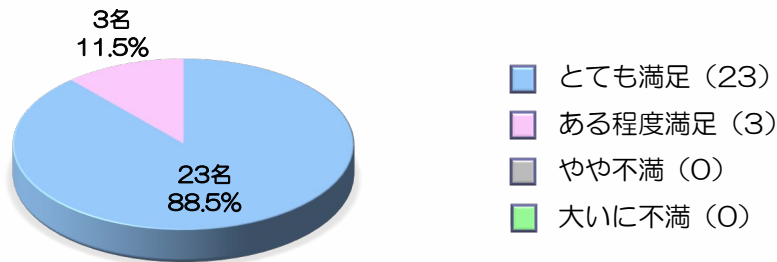
【とても満足】

- 自分の知見を広げることが出来た。
- 原子力の今と未来について見識を深めることができた。
- わかりやすい内容でまとめていただき理解しやすかったため。
- 知りたいことを知れたため。
- 原子力について、色々、知らなかった知識を学びました。
- 質問した以上に深く、詳しい回答が得られたから。
- 知見のある方から原発の様々な面について知れたから。
- 実際に携わっていた方からリアルな話を聞けたため。
- 高レベル放射性廃棄物の処理方法について詳しく知れたから。
- 事前の質問に詳しく御教示頂いたから。
- 原子力について多方面の意見を知ることができたから。
- 事前質問の内容について詳しく話を聞くことができた。
- 原発について新聞等とは違う角度から意見を聞け、勉強になった。
- 未学習の我々に対してわかりやすく話してくださった。
- 普段できない貴重なお話を聞けたため。
- 私の聞きたいことが聞けた。
- メディアでは聞けないような実際の話が聞けたため。
- 原子力の課題や対応策が丁寧にまとめられており、多くのことが学べた。
- 事前に調査したことに加えて深い知識が得られたため。

【ある程度満足】

- 原子力 OB からの貴重な話だったが、自分の知識が足りなさすぎると感じたから。
- 原子力発電についての新しい知識が学べたからよかった。
- おっしゃる内容は十分理解できるし共感できるが、受け手が自発して趣旨を理解できる場になるとさらに満足いくものになるのではと考えたから。

(3) 対話の内容は満足 of いくものでしたか？その理由は？



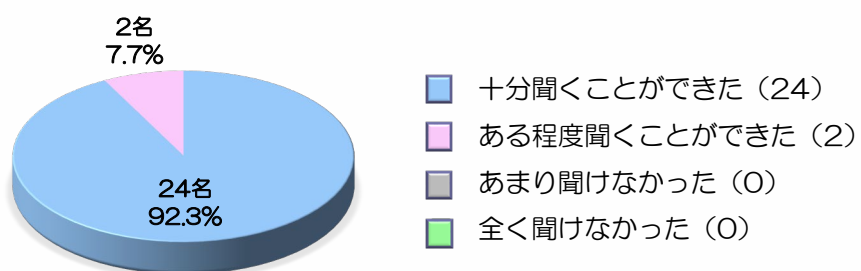
[とても満足]

- 原子力の必要性について専門家の説得力ある話を聞けたから。
- 原発の現状や技術的、社会的状況を改めて考える機会が出来ました。
- 疑問点が解消し、知識を深めることができたから。
- 事前質問に丁寧に回答いただき、当日も我々の質問の時間が多くとれるような進行をしていただいたため。
- 知りたいことを知れたため。
- シニアに関心のことを問えて、先生の答えが分かりやすいです。
- 原子力に関する質問の問いかけに、すぐにその倍以上の知識を共有して頂けたから。
- 原発の必要性をデータをもとに聞けたから。
- これまで気づかなかった部分にも目を向けることができたため。
- 自分の立場における意見交換ができたため。
- 意見を言える進行の仕方をしていただいたため。
- テーマについて専門家の方の意見を聞くことができた。
- 反対派の声が大きい中で賛成派の方がどのような考えを持ち行動しているかを知れた。
- 遠隔の形ではあるものの、対話方式という比較的接しやすい形で、専門的な部分についてもわかりやすく話していただけた。
- 今まで知らなかったことをしれた。
- とても詳しく分かりやすく説明をして頂けたから。
- 質問に丁寧に回答していただき、自身の疑問を解消することができた。
- 話を聞くだけでなく、こちらからの意見を言う時間もあって良かった。

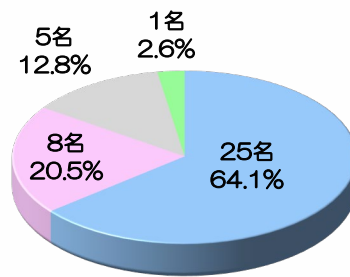
[ある程度満足]

- 原子力発電についての新しい知識が学べたからよかった。
- 原子力について知らなかった知識を多く学べたため。
- 議題について充分議論できたため。

(4) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？

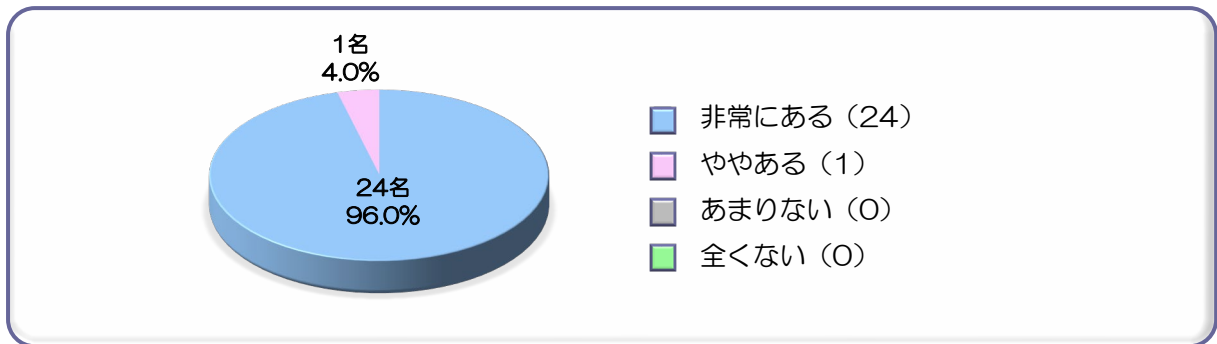


(5) 今回の対話で得られたことは何ですか？（複数回答も可）



- 新しい知見が得られた（25）
- マスコミ情報と今回の対話会情報に違いがあった（8）
- 自分の将来の進路の参考になった（5）
- 教育指導の参考になった（1）
- 特に新しい知見は得られなかった（0）
- その他（0）

(6)「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？



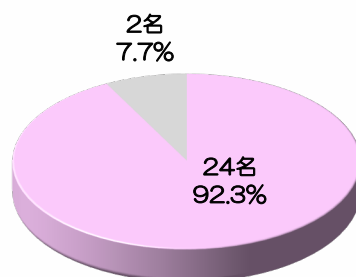
[非常にある]

- 知識量豊富なシニアの話はなかなか聞く機会もなく、興味の惹かれる話であったから。
- 専門の学生もそうではない学生も知る機会が大事なのではないかと考えているため。
- 専門家の方々の意見を聞くことでより詳しい情報が得られる。
- 学生にとって自由にアイデアや意見を述べられる場となり、それに対して適切に指導を頂けたから。
- 伝承のため。
- シニアの意見を聞くことで足りない知識を補完できたため。
- 知見を得て、議論する必要性があると感じたから。
- 正しい知識を得ることができるし、関心を持つことにつながるから。
- テレビやネットニュースでは学べない事があったため。
- 工学部の電気電子の学生として、研究で使わなくともエネルギー問題は知っておくべきことだと思う中で、実際に仕事をしている方の話を聞けるのは貴重だと思う。
- 原子力の必要性をしっかりと把握する貴重な経験となった。
- シニアの長年の経験や知識を学生は享受でき、学生の若者らしい考えをシニアに伝えられるため。
- 世論を変えるには理系だけでなく文系の方々にも対話をやる必要があると感じた。
- 今後活躍する学生が原子力の認識を深めることで、原子力が活躍できる社会となるから。
- 同年代との対話のみだと視野が狭くなりがちのため。

[ややある]

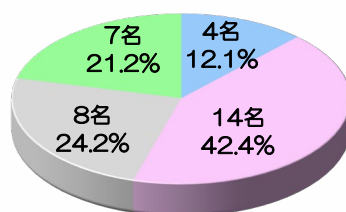
- 原子力に対する抵抗をなくし、正しい知識を身に着ける必要があるため。

(7) 今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？



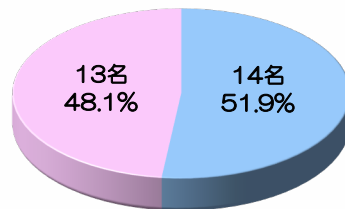
- まだまだ話したりないので参加したい (0)
- もっと知識を増やしてから参加したい (24)
- 十分話ができたらもういい (2)
- 二度も必要ないと思うからもういい (0)
- その他 (0)

(8) 放射線、放射能に対して伺います。(複数回答も可)



- 放射線、放射能はやはり怖い (4)
- 一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた (14)
- 一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた (8)
- 放射線、放射能は生活に有用であることを前から知っていた (7)

- (9)日本のエネルギー政策では、原子力発電を基幹電力(2030年に発電電力20~22%)とし、今後は省エネ・再エネ利用の拡大や火力の高効率化により、可能な限り削減していくとされています。対話も含めてあなたの認識は次のどれですか？その理由は？(複数回答も可)



- 原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない(14)
- 原子力発電の必要性は分かっていたので、認識は変わらなかった(13)
- 原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ(0)
- 原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい(0)
- どうすればいいかよく分からない(0)

〔原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない〕

- ・日本の火力の効率や二酸化炭素の排出量の量が少ないため、火力発電を削減しなくても温暖化抑制に寄与していると言いたいから。
- ・定量的なデータをもとに聞いた、地球温暖化の方が深刻だと感じたから。
- ・コストや環境面で非常に優れているため。
- ・安全性と地域への活性を考慮すると、バランスを保ち稼働すれば良いと思ったから。
- ・原子力は私たちが思っているほど、危険ではないため。
- ・再エネだけでは欠点も多く不十分であることは知っていたため、原発が必要であるとの認識は変わらなかったが、安全性について知り、削減ではなく更なる活用が必要であると認識した。
- ・日本国内のエネルギー環境を考えるうえで、有用なエネルギー源であると考え。
- ・原子力は環境問題もクリアできる主力エネルギーのため。
- ・原発稼働に向けての取り組みや、コストなどの面から。
- ・正しく使えば非常に有用であるから。
- ・原子力は再利用が可能かつエネルギー効率もよいため、今後より必要になると感じた。
- ・知識のない人が過剰に反応しすぎているだけだと感じる為。

〔原子力発電の必要性は分かっていたので、認識は変わらなかった〕

- ・電力コストや環境への配慮を考えると原発は魅力的であるため。
- ・危険性や有用性は勉強していたため。
- ・ある程度同じような考えではありましたが、より具体的な現場の意見を知ることができ、考えを深めることができました。
- ・自分の研究内容が電力システムに関する研究であったため。
- ・原子力は発電単価が低く、再エネ利用には電力システムの不安定化という課題が残っているため。

(10) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- ・原発について興味をひかれた。原発の必要性についてが中心であったが、福島原発の原因の裏側など、普通では聞くことのできない話が興味深かった。エネルギー問題の観点からは原発を必要という立場をとっていたが、知識のある専門家でも原発の危険性を把握しているからこそ反対の立場をとっている方もいると聞き、原発についての理解を深めたうえで反対、賛成について考えたいと感じた。
- ・本日はとても有意義な時間となりました。宇宙線から受ける放射能やコバルト60の件等、今まで知らなかったことを知る機会が出来ました。また、原子力発電のメリットやデメリット、どのように活用すればよいのか考える非常にいい機会となりました。加えて、東北で起こっている原発の状態について知る事が出来ました。櫻井先生、阿部先生、本当にありがとうございました。
- ・今回の企画を通して原子力発電に関する、より詳しい情報を知ることができた。2050年までに実質CO₂を0にするためには原子力発電のフル稼働は欠かせないと分かり、これを広めていくことが大切だと思った。
- ・事前質問から当日の議論まで、我々の意見を第一にいただき、そのうえで知識や考えを深めていただいたので非常に有意義な時間になりました。
- ・日本は資源が乏しい国です。今、主な発電方法は火力発電ですが、日本の石炭も非常に少なく、それに、火力発電でも温室効果があります。したがって、原子力発電と再生エネルギー発電が不可欠だと思います。現在の問題は原子力発電を日本の国民に正しく認識させることです。
- ・今回シニアの方々との対話を通して、自分たちが議論した放射性廃棄物に関連しては、ある程度の知識は身についたのではないのかと思う。原子力発電の必要性という部分に関しては、予備知識程度にしかわからなかったもので、また機会があれば詳しく調べてみたいと思った。
- ・奥深く原子力発電と今後の再生可能エネルギーを組み合わせた社会の実像を聞くことができ、将来の「こんな日本になって欲しい」というビジョンを描くことができた。まだまだ原子力に関して向かい風の社会ではあるが、極端な考えを持たず、ニュートラルな立場で正しい情報を学び今後の日本のエネルギーについてバランスよく考えていきたい。
- ・今回は、知見のある方から真実や必要性についてわかりやすく教えていただきました。本当にありがとうございました。
- ・まだまだ知らないことが多いと感じた。電気を専攻する人間がそうであれば、一般の人はなおさらなので、原子力に過剰に拒否反応を示すのも仕方ない部分があると思う。しかし、原子力に限らず何事も常に危険性と安全対策を念頭においておく必要がある。正しい知識と経験を活かし、正しく恐れる必要がある。
- ・今回の対話をする前までは東日本大震災による原発事故のイメージから危険性があるものと認識していました。しかしながら、シニアとの対話を通して危険性がないとわかり、原発稼働に賛成の考えに変わりました。発表資料を準備する時間が短く、十分な内容を練ることができなかったため、今後は準備する時間を増やすべきであると思う。

- ・ニュースや新聞では報道されないことを、深く学んだ。今まで表層だけを見て、判断していたので視野が広がりました。本日はありがとうございました。
- ・できれば対面での討論を行いたかったが、全般的に原子力発電について知ることができた。
- ・今回の講義は私にとって、とても有意義なものとなった。恥ずかしながら、今回の議論の前は、東電福島原発によって死者が出ていると思い込んでいたが、放射能による死者は出ていないということを知り、非常に驚かされた。今回の講義がなければ、原子力は反対だと思っていたため、色々と考えさせられた。私たちが出来ることは、私のように原子力の知識がない人に知識を伝えていくことだと思うため、これからも気にしながら過ごしていきたい。
- ・メディアとは違った角度から原発について考えることができた。
- ・ネットワーク工学を専攻しており、エネルギー分野に関しては学部時代の知識のみであったが、産業を支える基盤であるエネルギー技術、原子力技術の大切さを知りたいと考え受講した。対話室では、遠隔での形ではあるもののシニアの大先輩の方々とお話するという貴重な経験を与えていただいた。先生方も未学習の我々に対して質問一つ一つに分かりやすく、丁寧にお話してください、本当に自身にとって実ある時間となった。貴重な機会を与えていただき本当にありがとうございました。
- ・貴重なお話を頂きありがとうございました。
- ・原子力発電に関しての知識を学べる、非常に良い機会だったと思います。原発稼働にむけて実際には、どのような活動が行われているかなど、この場だからこそその話を聞けて大変楽しく参加させていただきました。
- ・自分の原子力の今後の在り方についての考えを述べた際、シニアの方々も強い関心を示してくださったため、とても嬉しく思えた。
- ・普段では聞くことのできない貴重な意見や話が聞けて勉強になりました。原子力発電について深く考えることのできる良い機会となりました。原発推進派の政治家を生み出す必要があると感じました。
- ・今回のような対話会は今後の原子力発電のために必要であると感じた。特に学生と対話を行うことで原子力へのネガティブなイメージを払拭でき、原子力にかかわる技術者も生まれるようになると思う。私は今回の対話会にて原子力に対する認識や視野が広がり、原子力について学ぶことができた。エネルギー自給率の低い日本では原子力の問題が今後重要になると考えるため、今回学んだことを活かして、自身でも考えていきたい。
- ・今回の企画を通して、原子力発電に対しての認識や考えなければならない課題が明確になりました。もともと関心がないわけではありませんが、どれだけの安全性や、批判等については深く知りませんでした。シニアの方となかなかお話しする機会もなかったため、非常に有意義な時間になりました。ありがとうございました。

● ・ 特にありません。